

会 議 名	平成25年度第1回港区3R推進行動会議
開 催 日 時	平成25年5月21日（火）午後2時から4時まで
開 催 場 所	港区立エコプラザ3階会議室B
委 員	（出席者）崎田座長、北村静子氏（北村和子委員代理）、木原委員、榊中委員、 藤野委員、岩政委員、内藤委員、荒川委員、佐々木委員、長谷川委員 （欠席者）森委員、桜林委員、小林委員、島村委員、 亀田委員
事 務 局	日山、高島、北川
傍 聴 者	なし
会 議 次 第	区挨拶 1. 事業者のためのフードバンクセミナーの報告 2. 意見交換① エコライフ・フェアMINATO2013出展について 3. 意見交換② 平成25年度3R推進事業の進め方について 4. その他
配 付 資 料	[事前配付] なし [席上配付] 1. 港区3R推進行動会議 設置要領（平成24年4月1日改正） 2. 平成25年度港区3R推進行動会議 委員名簿 3. 事業者のためのフードバンクセミナー 開催報告 4. 「エコライフ・フェアMINATO2013」出展概要 5. 平成25年度港区3R推進事業の進め方（案） 6. 親子で学ぼう！段ボールコンポスト講座（案） [参考資料] 1. エコライフ・フェアMINATO2013全体チラシ 2. 古着・廃食用油・小型家電の回収チラシ 3. 港区の清掃とリサイクル2013年 4. みんなと3Rレポートその5 5. 事業者のためのフードバンクセミナー 港区におけるごみの現状 6. ごみっと・SUN

## 主な発言・報告内容

### 1 港区挨拶

平成25年度の活動の活性化に向けて、活発な議論を重ねていきたい。平成24年度の港区のごみ量の現状は、平成22年度と平成23年度は若干の微増であったが、平成24年度は1.6%減少した。人口が増加している一方でごみ量が減少していることから、普及啓発の効果が表れてきていると考えている。昨年3月に策定した港区一般廃棄物処理基本計画（クリーンプラン21）では22年度時点（15万トン）から10年間で2万トン減らす目標を立てている。今年度以降も、ごみの減量に向けた普及啓発に一層取り組んでいかなくてはならないと考えている。3R推進行動会議の方々にもご協力いただきたい。

#### ●主な発言

- ・ さらにごみ量を減らすために、皆さんとどの様に呼びかけていけるかを決めていきたい。また、やって下さる方に成果が実感できるような形がよい。いろいろなセクションの方が参加しているので、ぜひ実効性のある取り組みを考えていきたい。
- ・ 今年度・来年度はリサイクル関連法の見直し審議が重なっており、従来の課題があれば今の段階で出し合っていくことが重要となる。良いものは継続し、課題のあるものは、課題を整理しながらより良くしていく時期である。
- ・ 港区は容器包装リサイクルに対しては積極的に取り組んでいる。ぜひ先進事例として、情報を発信していただきたい。

### 2 事業者のためのフードバンクセミナーの報告

#### ●事務局からの報告

まだ食べられる食品の廃棄を減らすため、フードバンクセミナーを開催した。フードバンクの取組や事例を紹介し、講師を交えた情報交換を行い取組への理解を深めた。港区は事業所が多く、ごみ量の約84%が事業者からの排出である。組成を見ると事業系のごみの3割が生ごみであり3.9万トンに上るため、食品ロスを減らす取り組みを続けている。

#### ●主な発言

- ・ フードバンク制度については知っていたが、セミナーに参加し運送費・衛生などの不安を払しょくすることができたという感想があった。
- ・ 以前別のところで話を聞いたことがあるが、食品スーパーにおいてはフードバンクの利用がない。生ごみを減らしたいという気持ちはあるが、3~4%が排出されている。値下げをすることで廃棄に結び付けないように各社で対応をとっている。食品リサイクル法により、各社の取組は進んできている。
- ・ ごみにしてしまうと食品の栄養が生かされず、なおかつ処理費がかかってしまう。どうしても残ってしまうものに対する仕組みとしてフードバンクを活用してもらうため

に開催した。

- ・ どういった規模の事業者が参加したのか。また、どの様な事業者が取り組んでいるのか。
- ・ 取組を行っている事業者数は把握していない。セミナーを開催するにあたり、300社にポスティングを行った。また備蓄食料を備えているであろうと考えられる100社に追加でポスティングを行った。参加事業者の規模はさまざまであった。
- ・ 参加者の反応は良かったが、呼びかけのところが弱かった。呼びかけのところについてどう考えているか。
- ・ 対個人としてお話した方が良かったのではないかと考えている。他のセミナーと比較して反応率が低かったというわけではない。
- ・ どのように呼びかけたら事業者へ響くのか意見を聞きたい。
- ・ 現状つかみ切れていない部分もあるが、企業の「エコ」に対する意識は低くない。どう周知させていくかは今後一緒に考えさせていただきたい。
- ・ 我々もセミナーを行っているが、参加者を増やすためには2～3か月前に告知をすることが大切。期間が短いと参加者の日程調整が難しい。また、当者まで案内が行かないこともある。告示時期を長くとり、案内を見る機会を多くとることに留意している。
- ・ フードバンクがタイトルに来ているが、食品ロスを減らすことは周知されているので、「食品ロスを削減する」ということを明確にした呼びかけでもよいと感じた。

### 3 意見交換① エコライフ・フェアMINATO2013出展について

#### ●事務局からの説明

3R推進のため、みなとりサイクル清掃事務所と共催で古着・廃食用油の資源回収を実施する。また、3Rの普及啓発のためパネル展示を行う。

#### ●主な発言

- ・ 地域がいろいろな国の方がお見えになるので、とても楽しみにしている。
- ・ 回収量は1.6トンくらいになる。年間5、6回イベントで回収している。
- ・ 港区ではイベントを中心に古着を集めているのか。
- ・ 5月から区有施設において常時回収を行っており、エコプラザとみなとりサイクル清掃事務所、みなとりサイクル清掃事務所作業連絡所で集めている。
- ・ 古着をリメイクする教室等も増えてきており、ファッションショー等を行うと人が集まっている。参考にできるのではないか。
- ・ パネル展示では、1年間で集まった総量やその推移などのグラフが出ていると良い。

### 4 意見交換② 平成25年度3R推進事業の進め方について

#### ●事務局からの説明

平成24年度の事業の課題として、参加者が少ない、地域特性に合わせた工夫との意見

があった。これらを踏まえ、今年度は「地域のみんなと3R」をテーマに、今までの流れを組みつつ、区民・事業者との連携を強めていきたいと考えている。また、事業者のごみの減量、地域の担い手の育成、情報発信の工夫の3点を重点取り組みとしている。

事業系のごみは紙ごみと食品ロスが多いが、これらの資源化率が低いため、そのテーマについてセミナーを行う。家庭系のごみは、生ごみが多い。港区が行った水切りの実証実験では、水切りを行うと可燃ごみが約6%減るという結果が出ているため、身近でできることの啓発が大切である。そのため、段ボールコンポストを継続的に取り組んでいただけるような支援を行っていきたい。合わせて、地域の担い手を増やしていくため3Rサポーター制度を強化していきたい。そのため、ホームページを分かりやすい内容に変更、ブログやツイッターを使いリアルタイムに情報発信を行う。学生の力も借りながら盛り上げていきたい。日程に関しては昨年度と大きく変えていない。

#### ●主な発言

- ・ 段ボールコンポストについて、生ごみが減った量とできた堆肥の活用場所に関する問題の経過を教えてください。また、段ボールコンポストだけでなく、生ごみを減らす（発生抑制）という観点も学習会に入れた方がよい。取組がなかなか地域に届かない現状がある。
- ・ 個別のテーマにつながる本質が伝わった方がよい。
- ・ エコクッキングや菜園等とセットで行われるところが良いと感じている。実績が蓄積してきているため、これまでの取組と成果を伝えて呼びかけをしてはどうか。段ボールコンポストを前に出さなくても、生ごみが問題と意識づけられればよい。
- ・ 呼びかけを行うメンバーとして3Rに関心のある人を把握しておく必要がある。3Rサポーターに声をかけ、手伝ってもらえるようになるとよい。
- ・ 3Rサポーター制度について現状と今年度の取組についてどう考えているのか。
- ・ 3Rサポーターにはイベント開催時等に情報提供をしている。本年度はメンバー数を増やし、またどうしたらメンバーになりたいかヒアリングを行いたい。
- ・ せっかく作った制度なので、この制度をうまく運用しながら広げていきたい。
- ・ 情報提供だけでなく、一緒に取組を行えばよい。
- ・ 昨年度までどの様な取組を行い、何が課題だったのか。資料の図がわかりにくい。
- ・ 食を中心に取組を行ってきた。その中で、取組のポイントと課題が明らかになってきた。これらに対する解決策と具体的な行動案を反映させ、今年度の取組としている。
- ・ 次回の会議までに、分かりやすい図に作り変えてほしい。
- ・ 段ボールコンポストの取組成果を数字で冊子等に出してもらえるとわかりやすい。
- ・ 個別のイベント運営ではなく、事業全体を見てもらいたい。
- ・ 講座やセミナーに参加するが、3R以外の事業との連携がない。緑のカーテン講座等でコンポストを紹介するなど、区の中で目標を共有して取組を行って欲しい。

- ・ 卒業生が活動する場がないと、続かない。連続講座でも良いので、やり続けていただける仕掛けが良い。小学生にそのような意識を持ってもらうのが良い。
- ・ 地域の担い手育成講座が3Rサポーター制度の充実と重なっている。具体的な想定はどうか。
- ・ 3Rサポーターには、発信していく立場に立っていただけるようなものを想定している。
- ・ エコプラザと連携し、3Rリーダーを育成してもよいのではないかな。
- ・ 以前の講座参加者にも声をかけてもよいのではないかな。
- ・ 3Rサポーター制度にどのような印象を持っているのか。
- ・ エコライフ・フェア MINATOにも参加してもらいたいという話があったが、できていない。
- ・ ブースの広さの関係でお声かけしていない。区民まつり等は予定している。
- ・ 3Rサポーターとなるハードルを下げなければと感じているが、サポーターになったからには、活動に参加していただきたいので、サポーター制度の内容を練っていかなければと感じている。今まではイベント来場者に対して、サポーター登録のお願いをするにとどまっている。
- ・ 3Rサポーターの活動場面はあるのか。
- ・ 声かけはしているが、今のところ具体的な活動場所が無い。
- ・ 3Rサポーター制度を今年度はきちんと動かしていきたい。大学生と広報を連携するとあるが、それだけでなく地域の担い手のところでも連携したらどうか。
- ・ 消費者団体連絡会ではパンフレットを大学に持っていく。参加してくれる学生は少ないが、発信していくことは重要と考えて行っている。
- ・ どの様な視点で、事業者と連携すればいいのかな。
- ・ 備蓄食糧は3年くらいの期間で買い替えていかないとならないので、フードバンク等の活用はできると思う。大手企業にお声かけし、備蓄商品の買い替えの際にアプローチすればやっていただけたらと思う。ローリングストックという非常食を普段から食べ回しながら備蓄する方法や、小学生向け冊子を3万冊発行している。環境編の冊子も準備しているので、活用方法があるのではないかな。
- ・ 漠然とした取組ではなく、ターゲットを絞った方がよいのではないかな。今何に関心があるのかを捉えて、焦点を絞れば人が集まるのではないかなと感じた。
- ・ 「地域とみんなが食品ロス削減」のように、今年度の取組は「これ」という共有をしてもよいのではないかな。
- ・ 段ボールコンポスト講座については、生ごみの全体像から入り最終的に出てしまうごみに関して段ボールコンポストを紹介する。対象を親子とし、さらに実効性を高めるためキットを受講者に配布することを予定している。やり方だけでなく、堆肥の使い方までご紹介したい。

取組の報告に加えて、どの様に堆肥を活用するかまで話ができればよい。こちらからの発信だけではなく、意見を募集したい。港区ならではの取組を募集し、冊子等にまとめて発信したい。

- ・ 内容に親子の特徴がなく、親子でやる価値がない。段ボールコンポストを始める時期としては今頃からやる方がいいが、夏休みを利用して小学生の自由研究などと絡めるのであれば、親子でやる良さを考えて欲しい。
- ・ 詳細の内容は企画会議で関心のある委員の方に集まっていただき、話し合う。講座や3Rサポーター制度の連携等、どこと協力しながらやるのかを決める必要がある。区民の方や事業者が企画するという視点も必要となる。
- ・ 事業者の方はタイトな時間で取り組んでいる。目的と何をして欲しいかが明確になればなるほど協力しやすい。
- ・ 皆さんの知見をいただきながら、進めていきたい。

## 5 その他

### ●次回会議に関して

企画会議は6月に、3R推進行動会議は8月に予定している。

### ●ごみ組成調査

- ・ 6月5日（水）に実施する組成調査において、見学会を予定している。興味のある方はみなとリサイクル清掃事務所まで電話で申し込んでほしい。